

(別紙1)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年7月17日

確定日 平成22年7月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2792700029		
法人名	株式会社ケア21		
事業所名	グループホームたのしい家大正 (ユニット1)		
サービス種類	認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同生活介護		
所在地	大阪市大正区平尾3-14-8		
自己評価作成日	平成22年5月29日	評価結果市町村受理日	平成22年8月18日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	http://www.osaka-fine-kohyo-c.jp/kaigosip/Top.do
情報提供票を活用する場合	

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 ケア・ウィル
所在地	愛知県名古屋市中村区則武1-13-9 チサンマンション第三名古屋1109号
訪問調査日	平成22年6月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>施設が商店街の中にあるため、利用者様と一緒に色々なものを買いに行く事が出来る。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>株式会社ケア21の法人としての理念が明確にされ、理念に基づいたサービスが提供されている。理念は、事業所玄関に掲示され、入居者、家族、訪問者が見やすいようになっている。職員は管理者に対し自由に話しやすい職場風土ができています。職員の提案事項が、事業所の業務改善となり、事業所の運営に反映され、職員のやりがいや介護サービスの質の向上に繋がっている。入居者が日常的に地域の商店へ買い物に出かけ、地域の方と交流を図り、入居者が地域の中で住民として安心して過ごしていける努力がされている。このことはグループホームが目指す地域で安心して暮らせる地域密着型サービス事業所としての役割を果たしていると考えられる。地域交流としてほかにも、地域の消防団と一緒に消防訓練が行われており、訓練を通して協力関係を築いている。家族アンケートからは、職員は明るく元気で安心して任せられるという声もあり、良好な関係がうかがえる。</p>

自己評価	外部評価	項目	外部評価		
			自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
. 理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の共有及び実践に努める	「質の高いケアスタッフが満足いただける介護サービスを提供します」というスローガンと、入居者第一主義という視点で7項目の理念があり、月1回開催される全体会議で共有されている。ホーム独自の理念はないが、地域密着型サービスとしての理念をつくりたいと考えている。	ホーム独自の理念をつくりたいという管理者、職員の思いを地域密着型サービスの視点で具体化されることを期待したい。
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月1回ふれあい喫茶(小学校で開かれている)に参加している	町内会には、入会されていないが、地域の小学校で月2回開かれるふれあい喫茶を利用し、地域との交流が図られている。散歩時には地域の人との挨拶を心がけ、商店街の八百屋で買い物をするなど、地元で買い物をするにより、馴染みの関係づくりに取り組んでいる。	地域で暮らすための基盤づくりがなされているが、さらに地域に根付くために、地域の活動、行事を通して交流を深めたり、情報収集や接点をもっていくための取り組みに期待したい。
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居者、家族様、見学者様に掲示しどなたでも見ていただけるようにしている。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を開きサービスの状況を報告し、意見の交換も行っている。	運営推進会議が2カ月に1度開かれ、入居者やサービスの状況が報告され、行事予定等についても報告されている。会議に参加した家族からの要望で、7日間の献立がホーム内に掲示されるようになった。メンバーからは様々な意見が出され、サービスの質の向上に繋がっている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる	利用者様の状況を報告しにしている。	市町村との連携については、入居者の状況、サービス提供の現状や、事故等の報告をしている。市町村に対する要望なども伝え、協力関係を築くよう取り組んでいる。その際、市町村からの新しい情報を得ようとしている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束に該当する場合はつどスタッフに説明している	ベッドからの転倒防止のため、センサーマットを使用している方や靴に鈴をつけて居場所が確認できるようにしている入居者がいる。家族へは、その理由をケアマネジャーから説明し、やむを得ない場合の対応として記録をとっている。リスク(危険)に関して緊急を要する場合は、電話で家族と話し合っている。	全ての職員が身体拘束の内容とその弊害を認識し、身体拘束をしないケアの実践に取り組まれることを期待したい。
7		虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴の際身体チェックを行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会を設け皆で情報を共有していきたいと考えている		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に重要事項の説明を行っている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項に施設、氏、国保連の苦情受付窓口について記載し説明を行っている	玄関に意見箱を設置しているが利用はない。家族は意見や要望がある時は、意見箱ではなく直接職員に話をしてくれる。入居者や家族から出された意向については、フェイスシートに記載されケアプランに生かしている。	
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職場会議にて話を聞き行っている。	管理者は職員が意見を言いやすい職場づくりを心がけている。月1回開催される職員会議で、職員の意見を積極的に聞き、料理や清掃について意見が出され、検討した結果、職員も一緒に参加するように改善されたなど、職員の提案が事業所の運営に反映されている。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場会議にて、研修を行い、また正当な評価が出来るように誰伸び制度を取り入れ実践している。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修や施設内研修を行いスタッフのレベルアップに努めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設との交換研修を行い相互の情報交換や、また健康管理委員会などの委員会で情報交換の場を設けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアマネージャーや施設管理者が見学の際、また体験入居の際に積極的に係わっている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学から入居に至るまで積極的に話を聞くようにしている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居に至るまで積極的に関わる事で、何を求めているのかを掴むようにしている		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活における用事を共にする事により、また話を積極的にする事により、共に生活しているという関係を築いている。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様の事情、気持ちをスタッフが共有する事により、共に支えていくという気持ちで行っている。		
20	8	馴染みの人や場の関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時、通院介助を通して行っている	入居者にとって、長年馴染んで利用していた商店へ買い物に出かけ、馴染みの人や場所との関係が継続できるように支援している。日常生活支援においても、そのことを意識することで入居者にとって、安全で安心した暮らしが継続できることに繋がると考えられる。	
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係を考慮し座席位置や、用事を手伝って頂く利用者を決めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去になられてもいつでも連絡をとって頂けるような環境を作っている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会社の理念の一つである利用者第一を掲げ、利用者本位を貫いている	入居予定者の初回面接をする時に、一人ひとりの生活に対する本人の思い、家族の思いを確認している。ホームに入居してからは、日常生活を通して、暮らし方の意向を確認しながらサービスが提供されている。	重度の認知症があり、自分の意向を表出できない入居者に対しての意向をどのように確認するのが課題である。アセスメントを深めるための工夫を検討されることを期待したい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様が入居しても馴染みの生活空間が変わらないように家具を持ってきて頂いたり、習慣を変えないようにしている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察やバイタルチェックにより行っている		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	行っている	日々の生活の中で入居者の思いや意向を聞き、家族には訪問時に要望などを聞いて確認している。職員が参加する月1回の会議で、入居者の状態について話し合い、ケアの内容の確認を行い、現場職員の意見や気づきを取り入れたケアプランを作成している。	
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	都度職員とケアマネージャーで情報を共有し必要であれば計画の見直しを行っている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様にはその都度対応し、家族様に関しては運営推進会議や面会時に積極的に意見を聞き柔軟に取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	安全を十分配慮した上で、日常生活のお手伝いをして頂いている		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	入居時に希望を聞き対応している	入居者の中には、在宅の時に世話になっていた地域のかかりつけ医に受診している方もいる。また、訪問歯科サポート体制を立ち上げており、協力歯科は2箇所あり、電話にてすぐに対応してくれる。ホームの協力医の往診が月1回、看護師の訪問は週1回行われている。緊急時はホームの協力医の他、近隣病院に受診するなど、柔軟に対応し適切な医療が受けることができる。	
31		<p>看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	訪問看護師と密に情報交換できる環境であり、必要であればご家族様に当日報告を行っている		
32		<p>入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院中家族様、医師に対し密に連絡相談を行っている		
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	契約時に説明している。最終的には施設内スタッフ、ケアマネージャー、看護師と相談し決めている	重度化した場合における対応に係る指針があり、入居時に説明している。開設して3年を経過するが、看取りの経験はまだ無い。本人や家族の意向を踏まえ、医師、看護師、職員と話し合い、連携を取り安心して最期を迎えられる体制で支援している。	看取りの経験は無いが、今後年月が経つにつれ、重度化が進みホームで最期を迎えたいという希望も出てくることも考えられる。医療、介護の両方で支えられるよう日頃から話し合い、チームとして方針を共有されることを期待したい。
34		<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	緊急時のマニュアルを掲載している		
35	13	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	定期的に消防訓練、避難訓練を行っている	日中を想定した避難訓練は年2回実施されているが、夜間想定訓練や勉強会等は行われていない。また、避難訓練は地域の消防団と一緒に取り組んでおり、協力関係が築けている。ホームとしては独自のマニュアルの作成も考えている。	今後は夜間を想定した訓練の実施や、手順等の打ち合わせについての取り組みに期待される。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人1人のスタッフが言葉掛けには配慮しており、また個人情報の取り扱いについてはコンプライアスマニュアルにて把握している	言葉づかいについては、管理者が気づいた時に注意をしたり、月1回の職員会議の際に話をしている。コンプライアンス（法令順守）の研修も行われており、職員は理解をしている。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	弊社の理念の1つである利用者第一を掲げ、利用者本位を貫いている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	都度施設会議にて利用者様の希望に添える事が出来るよう話し合っている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1度訪問理容に来て頂いており、希望者は毛染めも行っている		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行っている	フロア（1階、2階）により違いはあるが、味付け以外、食材の下ごしらえから調理に至るまで入居者も一緒に参加している。片づけも行われており、一人ひとりの残存能力を活かした支援がなされている。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活介護記録にて状態を把握し支援を行っている		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	生活介護記録にて状態を把握し支援を行っている	おむつではなく、できるだけ下着の着用に心がけているが、徐々におむつを使用する人が増えてきている。時間などのタイミングをみて排泄の声かけを行い、本人の意思を確認してからトイレに誘導している。	排泄の記録はとっているが、排泄パターンや習慣などについては記録からは読み取りにくい。勤務の交代時には1日の状況が速やかに理解できることも大切であることから、排泄パターンの把握（管理方法）について検討されることを期待したい。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘に対しては薬だけでなく冷たい牛乳を入れたり、散歩に出かけるなど工夫している			
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	今後利用者様を中心に入浴時間も柔軟に提供できるようにしていこうと思う	週2回の入浴であり、声かけにより実施されている。拒否をされる入居者には、人を変えて声かけを行ったり、日を改めるなどして清潔の保持に努めている。また、季節毎の楽しみとして菖蒲湯、ゆず湯などを取り入れ季節感を持てるよう支援している。入浴の時間は入居者と職員とのコミュニケーションの時間として大切に、楽しめるよう心がけている。	入浴に興味や刺激があると、日常の活性に繋がり、日々の入浴が今異常に有意義になる。個々に応じた支援ができるよう、入浴の増回等についても検討されることを期待したい。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	行っている			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬に関しては訪問看護師や医師と都度相談し、スタッフにも連絡ノート等で浸透させている			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を参考にレクなど行って支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>本人の希望を優先し出来るだけ意向に沿えるように配慮している</p>	<p>午前中に買い物に出かけている。入居者から希望が出た場合は、その日にできるだけ実行できるように努めている。ボランティアの受け入れについては、入居者が精神的に不安定になることを考慮して、行っていないが、馴染みの関係を築くことで、見慣れない顔も馴染みの顔となり、ホームにとって心強いサポーターとして期待できる。</p>	
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>行っている</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>行っている</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感を感じていただけるようフロア全体に工夫を凝らしている</p>	<p>暖色の照明は暖かい印象を受ける。入口や共有部分の壁には、季節を表す花の折り紙が掲示されている。また、外出した際の写真などもあり、必要以上の装飾はせず、季節感を味わえ、落ち着ける空間づくりを心がけている。</p>	
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアに長いすを設けている</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>なじみの家具等を持って頂ける様に入居の際に説明している</p>	<p>入居時に家族に本人の馴染みの物を持ちこんでもらえるよう説明しているが、ホームに古い物などを持ちこむ込むことに抵抗を感じる方もおり、居室には新しい物を購入される家族も多い。</p>	<p>生活環境の変化は入居者にとって与える影響が大きく、できるだけ本人の馴染みの物や使い慣れた物をそばに置くことにより少しでも心の安定に繋がると考えられる。家族にも協力してもらいながら、本人の趣味や好きな物などを活かし、その人らしく過ごせる部屋づくりに期待したい。</p>
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>行っている</p>		

アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の3分の2くらいの 利用者の3分の1くらいの ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と 家族の3分の2くらいと 家族の3分の1くらいと ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどいない

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		<p>大いに増えている</p> <p>少しずつ増えている</p> <p>あまり増えていない</p> <p>全くない</p>
66	職員は活き活きと働けている		<p>ほぼ全ての職員が</p> <p>職員の3分の2くらいが</p> <p>職員の3分の1くらいが</p> <p>ほとんどいない</p>
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		<p>ほぼ全ての利用者が</p> <p>利用者の3分の2くらいが</p> <p>利用者の3分の1くらいが</p> <p>ほとんどいない</p>
68	職員からみて、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		<p>ほぼ全ての家族が</p> <p>家族の3分の2くらいが</p> <p>家族の3分の1くらいが</p> <p>ほとんどできていない</p>

(別紙1)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成22年7月17日

確定日 平成22年7月23日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2792700029	
法人名	株式会社ケア21	
事業所名	グループホームたのしい家大正 (ユニット2)	
サービス種類	認知症対応型共同生活介護 介護予防認知症対応型共同生活介護	
所在地	大阪市大正区平尾3-14-8	
自己評価作成日	平成22年5月29日	評価結果市町村受理日

【事業所基本情報】

介護サービス情報の公表制度の基本情報を活用する場合	http://www.osaka-fine-kohyo-c.jp/kaigosip/Top.do
情報提供票を活用する場合	

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 ケア・ウィル
所在地	愛知県名古屋市中村区則武1-13-9 チサンマンション第三名古屋1109号
訪問調査日	平成22年6月23日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

施設が商店街の中にあるため、利用者様と一緒に色々なものを買いに行く事が出来る。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
. 理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念の共有及び実践に努める		
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	月1回ふれあい喫茶(小学校で開かれている)に参加している		
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	入居者、家族様、見学者様に掲示しどなたでも見ていただけるようにしている。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度運営推進会議を開きサービスの状況を報告し、意見の交換も行っている。		
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くよう取り組んでいる	利用者様の状況を報告しにしている。		
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	身体拘束に該当する場合はつどスタッフに説明している		
7		虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	入浴の際身体チェックを行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会を設け皆で情報を共有していきたいと考えている		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時に重要事項の説明を行っている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	重要事項に施設、氏、国保連の苦情受付窓口について記載し説明を行っている		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職場会議にて話を聞き行っている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職場会議にて、研修を行い、また正当な評価が出来るように誰伸び制度を取り入れ実践している。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内研修や施設内研修を行いスタッフのレベルアップに努めている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	他施設との交換研修を行い相互の情報交換や、また健康管理委員会などの委員会で情報交換の場を設けている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ケアマネージャーや施設管理者が見学の際、また体験入居の際に積極的に係わっている。		
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	見学から入居に至るまで積極的に話を聞くようにしている		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居に至るまで積極的に関わる事で、何を求めているのかを掴むようにしている		
18		本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	日常生活における用事を共にする事により、また話を積極的にする事により、共に生活しているという関係を築いている。		
19		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御家族様の事情、気持ちをスタッフが共有する事により、共に支えていくという気持ちで行っている。		
20	8	馴染みの人や場の関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	面会時、通院介助を通して行っている		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の関係を考慮し座席位置や、用事を手伝って頂く利用者を決めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去になられてもいつでも連絡をとって頂けるような環境を作っている		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	会社の理念の1つである利用者第一を掲げ、利用者本位を貫いている		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様が入居しても馴染みの生活空間が変わらないように家具を持ってきて頂いたり、習慣を変えないようにしている		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の観察やバイタルチェックにより行っている		
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	行っている		
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	都度職員とケアマネージャーで情報を共有し必要であれば計画の見直しを行っている		
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	利用者様にはその都度対応し、家族様に関しては運営推進会議や面会時に積極的に意見を聞き柔軟に取り入れている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	安全を十分配慮した上で、日常生活のお手伝いをして頂いている		
30	11	かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に希望を聞き対応している		
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している	訪問看護師と密に情報交換できる環境であり、必要であればご家族様に当日報告を行っている		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院中家族様、医師に対し密に連絡相談を行っている		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に説明している。最終的には施設内スタッフ、ケアマネジャー、看護師と相談し決めている		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルを掲載している		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	定期的に消防訓練、避難訓練を行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	1人1人のスタッフが言葉掛けには配慮しており、また個人情報の取り扱いについてはコンプライアンスマニュアルにて把握している		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	弊社の理念の1つである利用者第一を掲げ、利用者本位を貫いている		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	都度施設会議にて利用者様の希望に添える事が出来るよう話し合っている		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1度訪問理容に来て頂いており、希望者は毛染めも行っている		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	行っている		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活介護記録にて状態を把握し支援を行っている		
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	行っている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	生活介護記録にて状態を把握し支援を行っている		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘に対しては薬だけでなく冷たい牛乳を入れたり、散歩に出かけるなど工夫している		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	今後利用者様を中心に入浴時間も柔軟に提供できるようにしていこうと思う		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	行っている		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬に関しては訪問看護師や医師と都度相談し、スタッフにも連絡ノート等で浸透させている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	生活歴を参考にレクなど行って支援している		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次にステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>本人の希望を優先し出来るだけ意向に沿えるように配慮している</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>行っている</p>		
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>行っている</p>		
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節感を感じていただけるようフローア全体に工夫を凝らしている</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フローアに長いすを設けている</p>		
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>なじみの家具等を持って頂ける様に入居の際に説明している</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>行っている</p>		

アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者の 利用者の3分の2くらいの 利用者の3分の1くらいの ほとんど掴んでいない</p>
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p>
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らさせている	<p>ほぼ全ての利用者が 利用者の3分の2くらいが 利用者の3分の1くらいが ほとんどいない</p>
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族と 家族の3分の2くらいと 家族の3分の1くらいと ほとんどできていない</p>
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどいない</p>

65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている		<p>大いに増えている</p> <p>少しずつ増えている</p> <p>あまり増えていない</p> <p>全くない</p>
66	職員は活き活きと働いている		<p>ほぼ全ての職員が</p> <p>職員の3分の2くらいが</p> <p>職員の3分の1くらいが</p> <p>ほとんどいない</p>
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う		<p>ほぼ全ての利用者が</p> <p>利用者の3分の2くらいが</p> <p>利用者の3分の1くらいが</p> <p>ほとんどいない</p>
68	職員からみて、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う		<p>ほぼ全ての家族が</p> <p>家族の3分の2くらいが</p> <p>家族の3分の1くらいが</p> <p>ほとんどできていない</p>